

【めむろ未来ミーティング日程 5】

令和2年1月15日(水)

10:00～11:30

平和地域福祉館

■参加者 6人

■芽室町 町長、企画財政課長、農林課長、建設部
市整備課長

■記録 矢野

■対応・検討が必要な事項

なし

- 1 開会
- 2 副町長挨拶
- 3 町からの説明事項
『公共施設の配置構想』
- 4 意見交換

【意見】

配布された資料の「ふれあいの居場所」とはなにか。

【企画財政課長】

子どもの施設を作る時には高齢者や障がい者とのふれあいを考えており、付近の施設を含めてのゾーニングの名称である。例えば、芽室小学校の子どもセンター付近には発達支援センターやリストン・オーネルを含めてエリアである。

【意見】

最初の説明で聞き逃したかもしれないが土地改良の部署は新庁舎になるとどうなるのか。

【農林課長】

建物は残す。あの建物にはダム管理の機能としての位置づけがある。スタッフについては新庁舎に移ることになる。

【意見】

公共施設の配置資料を見ていると、箱物が多いなと感じる。地域福祉館を建設するには数千万円かかると思うので、利用する者には地元にあれば申し分ないが、例えば河北地区に二カ所とかコンパクトにする考えはないのか。

【企画財政課長】

農村部の会館についての基本的なコンセプトは半径4km以内には会館を作りたいと思っている。地域のコミュニティという視点と災害時の避難所や避難物資の拠点という考え方である。

【町長】

あとは機能。かつてはコミュニティの場所として利用され、炊き出しが行われており、それなりの規模の台所がどこの会館でもあった。しかし、時代が変わって、炊き出しもほとんどしなくなった地域が多く、昨年建設した栄コミュニティセンターの台所は家庭用のシンクのような感じである。地域内での協議で不必要的ものを削っていくとスリムになるところもある。この平和福祉館は昭和62年建設で耐震性がある建物であり、建て替え順位は遅くなる。町としては年に3カ所と考えているが来年度は1カ所。地域住民との協議に時間を要することがある。

【企画財政課長】

市街地はある程度統廃合する必要があると思っている。半径500m以内で徒歩圏内のコンセプトでいくと重複している箇所がある。また、避難所としての機能が求められることからある程度の大きさが求められる。

【意見】

防災ラジオが配布されたが鳴らすとどうなるのか。

まだ鳴らしていないので。

【町長】

災害用の戸別端末でかつての同報無線のような機能で災害情報を流すことができて、ラジオも聴ける。毎日 17 時には夕焼け小焼けの曲で聞こえているか確認している。平成 28 年災害では雨の音でスピーカーの音が聞こえないとの声を受け、試験放送でチェックしている。現在は約 3,000 戸に配布完了したが最終的には全戸に配布したいと思っている。

【意見】

安心メールやフェイスブックも頻繁に情報発信していると思う。

【町長】

ありがたい言葉に感謝する。即時性をもってさまざまな媒体を用いて情報発信している。スマホで情報を入手できる方もいれば、高齢者にはラジオで入手する方もいると思う。町としては一つではなく、いくつかのチャンネルが必要だ。

【意見】

公立芽室病院の産科・婦人科の復活の見通しはあるのか。

【町長】

科としては廃止した。かつては小児科の医師がいて、助産師も最大 15 人いたが最終的には 3 人までに減った。

現在の小児科は検診などの対応もあり、午後から休診になる日もあるのでもう一人確保して、二人体制にしたいと思っているがなかなか厳しい状況。

将来的な見通しでは、ある程度のすみ分けは必要だと思っている。急性期は規模の大きな病院、リハビリなどの慢性期には公立芽室病院という形になるかもしれない。そのような役割分担が必要。

【意見】

芽室町に待機児童はいるのか。また、保育士不足

が言われているが保育所や幼稚園の状況は。

【町長】

芽室町の待機児童はゼロ。

保育士についても不足していない。全国的には不足している地域もあると聞いているが芽室町を希望する方が多くありがたい。

【意見】

芽室町は子育てにやさしい町だと思う。副食費の助成だったり、医療費が中学生まで無償化は子を持つ親としては助かる。その一方で町の負担が増えてしまうか心配な部分もある。

【町長】

一年経過していないのではっきり分析はしていないが、無償だから何回でも病院に行くというコンビニ受診などはほとんどない。

子育て部分については、ある一定程度のハード面は整ったと認識している。今後はソフト面の拡充をすすめていく。

【意見】

SDGs の取り組みについて町の対応は具体的にあるか。

※SDGs とは「持続可能な開発目標」、2015 年国連サミットで全会一致で採択。誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し 17 の国際目標をめた。

【町長】

大変難しい問題である。貧困・飢餓・教育・保健・気候変動など 17 ある。町として SDGs のためにというよりは町として行う施策の成果が 17 の目的に反映していくというイメージになると思っている。

【意見】

東工業団地の拡大ということは、具体的な企業も手を挙げているのか。

【町長】

おかげさまで30企業程度の相談があり、現在は希望に見合うだけの土地がない状況。運輸業などからも相談を受け、トラック台数を考えると相当な面積が必要。スピード感をもって対応していきたい。

【意見】

雇用の件。農業の機械化は進んでいる人の手が必要な仕事もあり、人材確保が課題である。我が家も派遣会社に依頼しているが「農家は大変だから」と時給をアップしても労働者が来ない。外国からの労働力などを検討する時期ではないか。

【町長】

配布した資料の「雇用促進住宅」には24戸ある。労働者を呼ぶには雇用と住宅をセットでPRする必要があると考えている。

食品加工工場などとも連携して冬の雇用をある程度確保した上で、この24戸に来てみませんかと呼びかけたい。一番優先したいのは農業者であり、工業や福祉もあり得る。農業以外でも違う業種での人手不足・人材不足は深刻であると認識している。

【意見】

移住や定住のお試しも想定していいのか。

【町長】

移住のお試しとは想定していない。雇用をきっかけに町に住むことに繋がれば理想だ。

【意見】

移住ドラフトに参加したと聞いた。

【町長】

移住ドラフトとはプロ野球のドラフト会議のようなもので役所や企業が球団側となり、北海道に移住を希望する人が選手となって、自分のアピールできる能力をプレゼンすることでマッチしたところが指名するというスタイル。有能な人材にはオファーが集まり抽選することもある。

これは移住だけにスポットが当たるが、まずは芽室町への関係を築く、良い町だから行ってみよう、魅力ある町だから住んでみたい、と思えるような関係人口・交流人口・移住定住という形になれば理想である。

また、二拠点化といって例えば本社が東京で、支所的なものが北海道などの地方という形で会社が増えてきている。ネット環境さえ整えば、日本中どこでも仕事ができるわけで芽室町も本腰を入れてネット環境整備をする必要があると思っている。

【意見】

平和地区はISDN。光にしてほしい。

【町長】

民間事業者は、以前は市街地など件数の多いところでないと敷かないと言っていたが、最近は雰囲気が違うように感じている。

幹線までは業者で引っ張る、その先は自己負担になるが環境が整えるようになってきている。皆さんにお知らせできる時には知らせたい。

【意見】

嵐山はどうなるのか。

【町長】

ワイナリーなど新聞報道されたのでそればかりが一人歩きしている感じもあるが、そればかりではない。ある一定の場所を民間に貸し出して、どう活用するのかという提案を受けようと思う。町は大家さんのイメージかもしれない。

【意見】

キャンプ場はどうなるのか。

【町長】

あの災害を受けた場所の復活は厳しいと思っている。あの場所を少し整備してイベント広場などに活用できるかもしれない。現在はグランピングなどが流行っているので麓側や森林部分でも面白い。近い

うちに構想はお知らせするつもりでいる。

嵐山のコンセプトはファミリー層や女性が楽しく一日遊べる場所になってほしい。ドッグランも試験的にやっているが芝生の管理や衛生面の課題もあるが魅力的な場所になる可能性を秘めている場所が嵐山だと思っている。

【意見】

市街地の中心部はどうなってしまうのか。シャッターだけが閉っている。

【町長】

衰退のスピードが予想よりも早まっている感があり、早急に何とかしたいと思っている。市街地すべては厳しいのでエリアを決めて焦点を絞ってやる方法もある。

飲食店やショップを集合することで起業できる場所を商店街や商工会も含めて議論を重ねてドラスティックに進めていきたい。

【意見】

ある会合に参加して6次化の話があった。それをしてやるにしても練習する場が必要だと思った。1週間おかみさん制度やトライアルを通じて、お店などの次のステップに繋がると思う。

【町長】

貴重な提案で参考にしたい。

【意見】

河川敷の野球場はどうなるのか。

【町長】

現在は町営球場だけしかない。大会を開催するためには2つの球場が必要。これからは芽室中学校のグラウンドを整備して、さまざまな大会が運営できるように検討している。

【意見】

温水プールはいつ作るのか。以前まではプールは

子どもが使うものと思う人もいるかもしれないが、最近は中年や高齢者が健康維持のために利用していることが多い。その利用者から寒いとの声を聞く。

【町長】

もともとの構造として夏はプール、冬はゲートボールで利用するという形で使用してきた経過がある。ご存じのように通年プールで使用し、それに加えて老朽化もあり、寒いことは否定できないこともあり、スピード感をもって進めていきたい。

【意見】

農村コミュニティの維持という意味での福祉館ということは理解したが、町が期待するるべき農村部のイメージなどはあるのか。

【町長】

町内の農家戸数は毎年10戸程度減少している現実があるが地域のつながりやコミュニティは必要であるし、戸数が少ないからと言って単純になくすという考えはない。しかし、これから先の将来を見据えながら、このようなミーティングを行い、この先をどうすべきか議論していきたいと思っている。

【意見】

私は外から来た人間だけど、この地域にも人が少なくなっているので過疎地域に住宅を建てるなど考えてもいいと思う。

【町長】

町内でいうと上美生地域がそのようなところ。例えば、そこに実際に居住する人の利便性などを考えた時に過疎地域を優先にハード面を拡充していくことは難しい。

【意見】

例えば、町内で離農したとしても、その土地は周囲で借りたいと思う人が多く、どんどん就農者を入れるという考え方や土壌は町内には少ない感じているが。

【町長】

町内の平均面積は35ヘクタールくらい。毎年10戸が離農していることから、この先の平均面積が40ヘクタール・50ヘクタールと増えた時にどこまでいくのか。作物にもよるが手間が増えて労働力の確保がますます深刻になっていく心配もある。もしかしたら、条件の悪い土地では耕作放棄地の可能性も考えられる。

よって、新規の就農者を入れていく土壤を作っていくことも必要だし、すぐに外国人労働者ではなくて、道内や道外の農業を目指す人を受け入れる環境を整えることが大切だと思っている。



11:30 終了